

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人別福会	代表者	北地 輝昭	法人・事業所の特徴	別府市の南端にあり、海・山も近く自然豊かな環境下、ご利用者様に「寄り添い」ながら自立支援と地域連携を進めながら「楽しい時」を過ごしていただく努力をしています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 両郡橋事業所 福祉の森	管理者	貞山 智絵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	4人	人	人	1人	人	2人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員間のコミュニケーションを密に図り、情報の共有と更なるスキルアップを計画的に行う。	毎日の情報共有、事業所内での所内研修を行ったが、情報共有について情報の把握にバラツキがあった。	特になし	継続して職員間のコミュニケーションを密に図り、情報の共有と更なるスキルアップを計画的に行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所内外の環境整備を行い、また、感染対策を行い、誰でも立ち寄りやすい事業所を目指す。	環境整備等行ったがコロナの影響もあり立ち寄りを制限せざるを得なかった。	連携、協働出来ている。コロナ渦中において可能な範囲で努力している。	コロナ状況に合わせ、感染対策と可能な限り事業所を地域に開き立ち寄りやすい事業所を目指す。
C. 事業所と地域のかかわり	行事等積極的に参加し、地域との絆を深めていく。	コロナ渦でイベントの中止が続き参加できなかった。	コロナ渦において地域との連携が難しい中、広報誌等できることを模索されていると思う。	継続して行事等積極的に参加し、地域との絆を深めていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の相談等に民生委員、児童委員等と協力して対応に取り組む。	対象となる地域の相談がなかった。	特になし	継続して地域の相談等に民生委員、児童委員等と協力して対応に取り組む。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所の取組みが推進会議を通して地域に理解していただける様に情報を発信していく。	運営推進会議、書面決議にてコロナ渦で出来る取組みについて発信した。	わからないことが多い	継続して事業所の取組みが推進会議を通して地域に理解していただける様に情報を発信していく。
F. 事業所の防災・災害対策	地域との避難訓練等積極的に行うと共に、職員個人の意識を高める。	コロナ渦で集まることが出来ず地域との避難訓練を実施できなかった。	特になし	コロナ状況に合わせ可能な限り地域との避難訓練等積極的に行うと共に、職員個人の意識を高める。